

# 平成29年度大分県学力定着状況調査結果分析と改善方策について

宇佐市教育委員会

## 1. 偏差値一覧

	小学校5年生						中学校2年生									
	国語		算数		理科		国語		社会		数学		理科		英語	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用
宇佐市	52.9	51.7	52.1	51.5	53.0	52.6	51.7	50.3	51.4	50.7	52.0	51.7	52.9	52.4	51.6	50.7
大分県	51.5	51.1	51.5	51.7	51.9	51.2	50.9	49.8	50.5	49.5	50.3	50.3	50.8	50.2	50.0	49.8

## 2. 結果の概要と分析および改善策

### 小学校 国語

- 「知識」「活用」とともに偏差値50を上回っている。
- 観点・領域別では、「話す・聞く能力」が、県平均をやや下回っている。
- 問題別では、「記述式」の問いでの正答率が高く、改善が見られる。
- 「話し合いの様子を聞き取る」と「文の構成（連用修飾語）」においてやや課題が見られる。
- ☆「自分の考えを話したり、友だちの考えを聞いたりする場」を授業の中でさらに充実させる。
- ☆読書活動の推進、さまざまな図書資料を活用した授業の充実を図る。

### 小学校 算数

- 「知識」「活用」とともに偏差値50を上回っているが、「活用」では、県偏差値をやや下回っている。
- 観点・領域別に見ても、すべて偏差値50を上回っているが、「図形」「数量関係」において県偏差値をやや下回っている。
- 活用問題の中で、特に「記述式」問題に課題が見られる。
- ☆「図形」領域では、「可視化」「操作活動」等により、実感を伴う場を設定する。
- ☆問題解決的な学習（算数的活動）の充実により、自分の考えを表現したり、友だちに説明したりする力を育成する。

### 小学校 理科

- 「知識」「活用」とともに偏差値50を上回っている。
- 観点・領域別では、「観察・実験の技能」がわずかに偏差値50を下回っている。
- 「植物の成長」（知識）「ものあたたまり方」（活用）について、課題が見られる。
- ☆児童の興味・関心を生かした課題の設定や、観察・実験の目的を明確にし、主体的に進める学習活動の充実を図る。
- ☆観察・実験結果を整理し、自然の事物・現象（日常生活）と関連づけて考察する学習指導を充実させる。

## 中学校 国語

- 「知識」「活用」とも偏差値50を上回っている。
- 観点・領域別に見ても、すべて偏差値50を上回っている。
- 昨年度課題の見られた「言語事項」について改善が見られる。
- 「話し合いの内容を聞き取る」について課題が見られる。
- ☆言語活動を設定し、「自分の考えを話したり、他者の考えを聞いたりする場」を授業の中でさらに充実させる。
- ☆読書活動の推進、さまざまな図書資料を活用した授業の充実を図る。

## 中学校 社会

- 「知識」「活用」とも偏差値50を上回っている。
- 観点・領域別に見ても、すべて偏差値50を上回っている。
- 「社会的な思考・判断・表現」「世界の諸地域」にやや課題が見られる。
- ☆複数の情報を関連付けて、考えたり説明したりする場面を設定する。
- ☆単なる知識に留まらず、既習事項から、その事象の背景と関連付けられた知識にまで高められるような学習活動にする。

## 中学校 数学

- 「知識」「活用」とも偏差値50を上回っている。
- 観点・領域別に見ても、すべて偏差値50を上回っている。
- 昨年度課題のあった「図形」問題において、改善が見られる。
- ☆問題解決的な学習（数学的活動）の充実により、生徒が問題解決に向けて主体的に考えたり説明したりする場面を設定する。
- ☆実感を伴う操作活動を取り入れ、「図形」の特徴についての理解と技能の習得を図る。

## 中学校 理科

- 「知識・活用」において偏差値50を上回っている。
- 観点・領域別に見ても、すべて偏差値50を上回っている。
- 昨年度課題の見られた「観察・実験の技能」で特に改善が見られる。
- ☆課題解決に向けて、生徒が見通しを持って思考を進めていく学習指導をさらに充実させる。
- ☆実験事実や観察結果、図や表から読み取ったことを言語化して、考察、説明する学習や協働的な学習を充実させる。

## 中学校 英語

- 「知識」「活用」とも偏差値50を上回っている。
- 観点・領域別に見ると「読むこと」において、わずかに偏差値50を下回っている。
- 昨年度課題の見られた「リスニング」「長文の読み取り」に改善が見られる。
- ☆実生活に関連した課題などを通じて動機づけを行い、生徒の学びに向かう力を育成する。
- ☆聞く力、話す力を身につけるための学習活動を充実させる。

## 児童生徒質問紙

○小・中ともに、規範意識、社会参画、学習習慣、生活習慣のカテゴリーで全国値に比べ良好な状況である。  
☆テレビの視聴時間は、改善傾向にあるが、ゲーム・スマートフォン等の長時間使用が課題であり、小中学校間で連携しながら、保護者とともに考え、対応する必要がある。